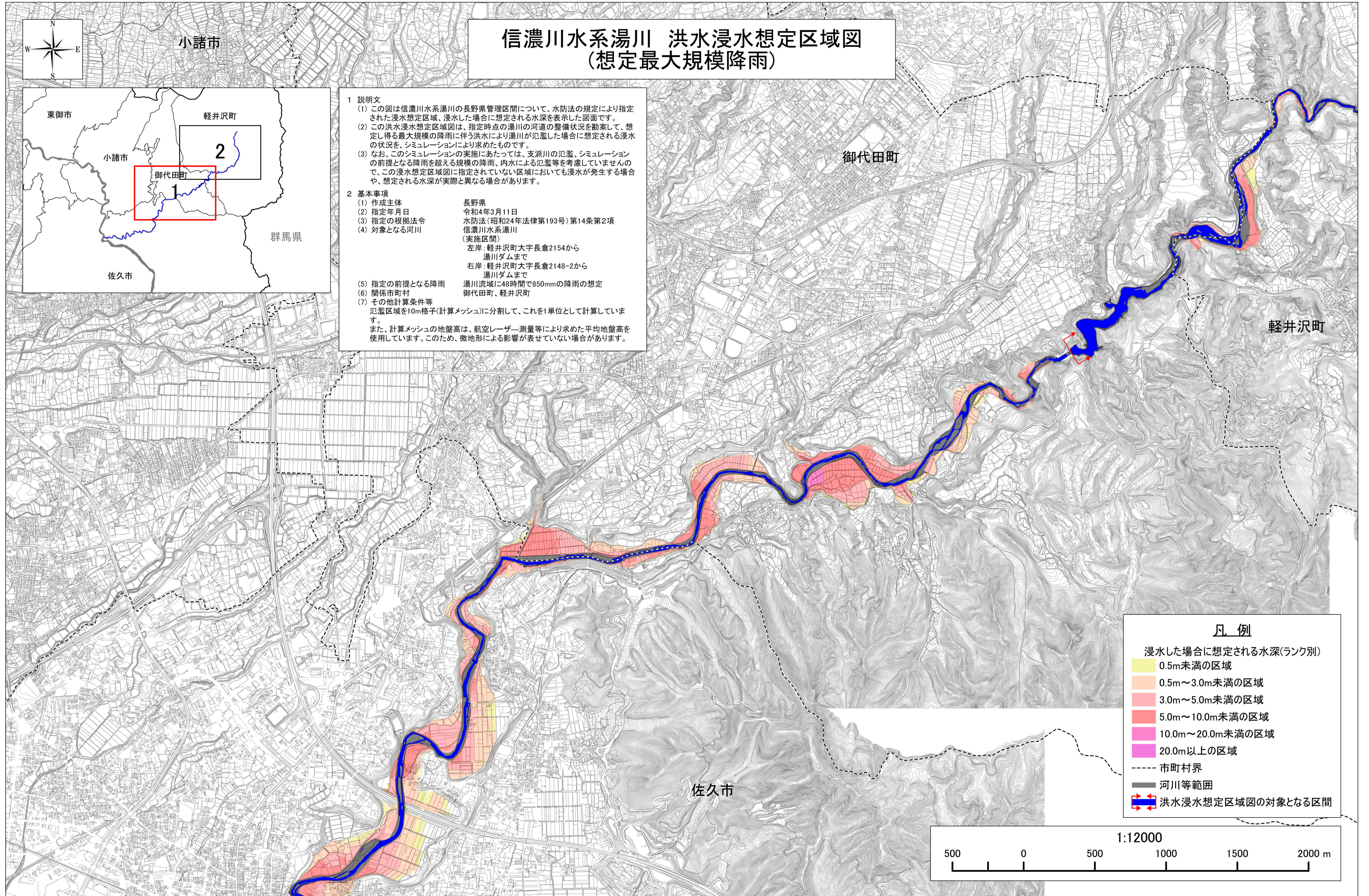
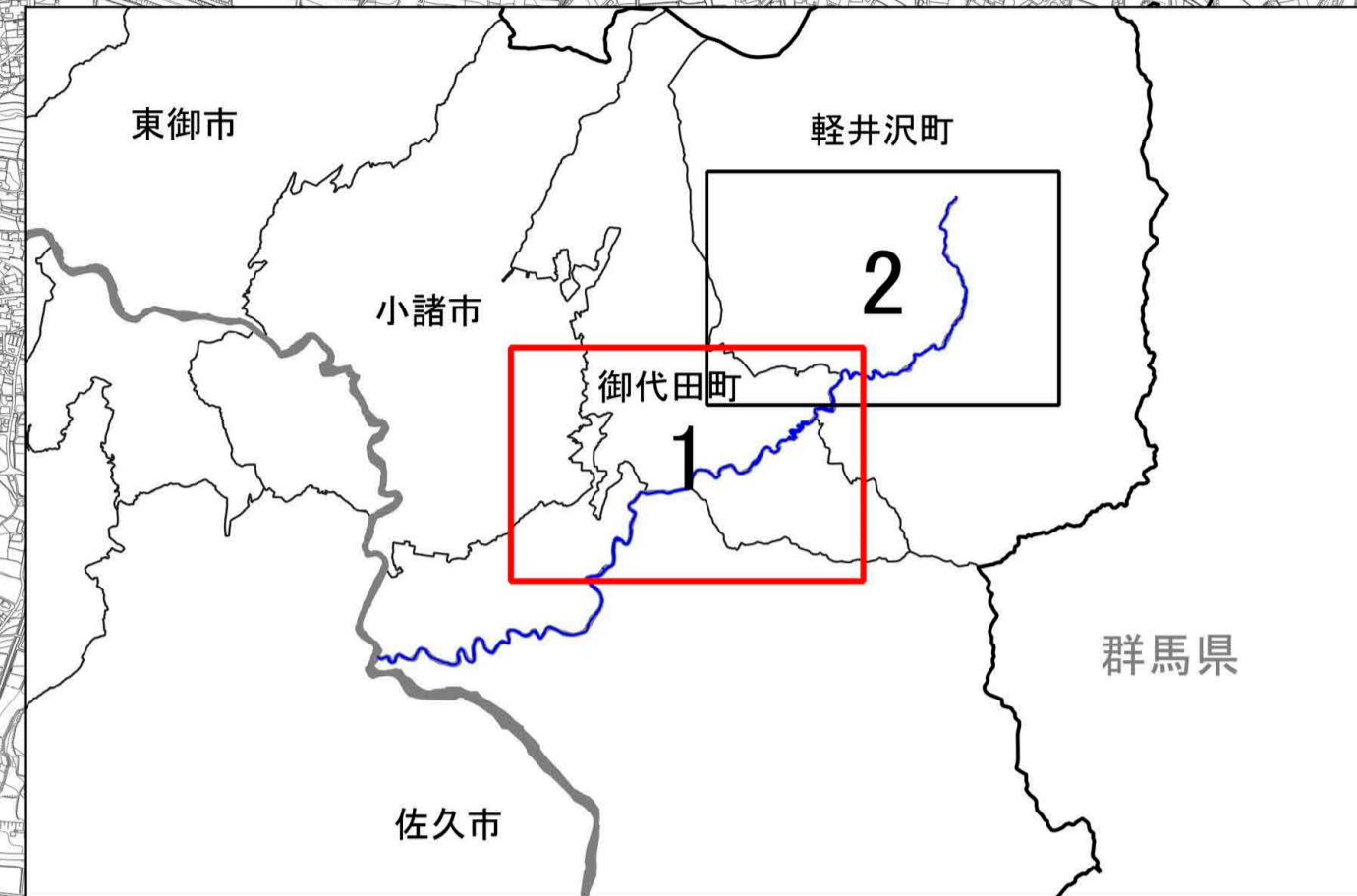
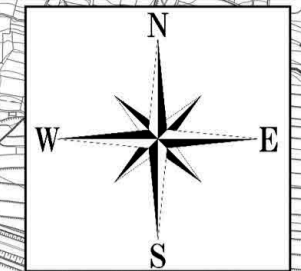


信濃川水系湯川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)

- 1 説明文
- (1) この図は信濃川水系湯川の長野県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の湯川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湯川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- 2 基本事項
- | | |
|----------------|---|
| (1) 作成主体 | 長野県 |
| (2) 指定年月日 | 令和4年3月11日 |
| (3) 指定の根拠法令 | 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項 |
| (4) 対象となる河川 | 信濃川水系湯川
(実施区間)
左岸: 軽井沢町大字長倉2154から
湯川ダムまで
右岸: 軽井沢町大字長倉2148-2から
湯川ダムまで |
| (5) 指定の前提となる降雨 | 湯川流域に48時間で850mmの降雨の想定 |
| (6) 関係市町村 | 御代田町、軽井沢町 |
| (7) その他計算条件等 | 氾濫区域を10m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。
また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。 |



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)
0.5m未満の区域
0.5m～3.0m未満の区域
3.0m～5.0m未満の区域
5.0m～10.0m未満の区域
10.0m～20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
--- 市町村界
— 河川等範囲
⇄ 洪水浸水想定区域図の対象となる区間

「この地図は、小諸市長の承認を得て、同市作成の小諸市都市計画図基本図1/2,500を使用して得たものである。(承認番号 2都第496号)」
 「この地図の作成に当たっては、旧佐久市発行の2千5百分の1基本図、旧御代田町発行の2千5百分の1基本図、旧望月町発行の5千分の1全図、旧浅科村発行1万分の1の全図を使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認元佐都第37号)」
 「この地図は、御代田町長の承認を得て、同町作成のDMデータ1/2500を使用した。(承認番号 2御取3017)」
 「この地図は、軽井沢町長の承認を得て、同町作成のDMデータ1/2500を使用して得たものである。(承認番号 2軽地第1189号)」